

「日々の理科」(第2226号) 2020,-8,15  
水彩画教室「午後的高原」  
お茶の水女子大学附属小学校教諭  
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員  
田中 千尋 Chihiro Tanaka

浅間高原にはキャベツ畑がたくさんあります 収穫は投光器を使って未明から行われ その日の午前には東京に送られるものもあります 収穫が終わったキャベツ畑越しには 浅間と夏雲が見えます 午後の高原のいつもの風景です



これが完成した絵です



1、浅間の噴気は「空の塗り残し」に影をつけて 単純な表現にしました



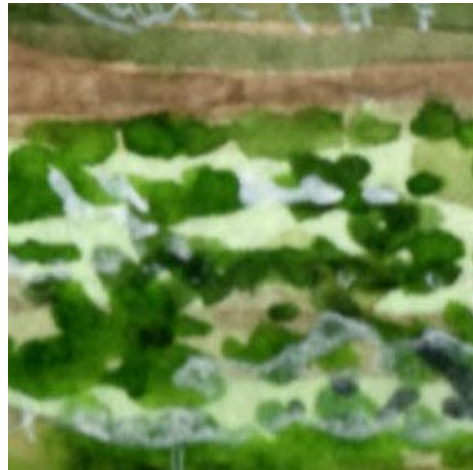
2、夏雲(雄大積雲)は 少しジョンブリアン(肌色)を使っています



3、浅間の山肌は 青(ウルトラマリン)に紫(ミネラルバイオレット)を重ねています



4、遠くの森は緑に濃淡をつけて 最後に乾いたら 白樺の木々を加えます



5、キャベツ畑の基本は 薄い緑(リーフグリーン+ホリゾンブルー)です そこに濃い緑を少しずつ重ねます



6、近くのキャベツには 少し「葉脈」を加えると キャベツ畑らしくなりますが あまりわざとらしくならないように注意します